

令和7年度

# 学校要覧



## 三重県立城山特別支援学校

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号

TEL (059) 234-3431 (事務室)

(059) 234-9460 (職員室)

FAX (059) 234-3432

ホームページ <http://www.mie-c.ed.jp/ssiroy/>



## 学校概要

昭和37年4月に県内唯一の養護学校として三重県立養護学校が設立されました。以来、肢体に障がいがある県内の児童生徒を受け入れ、肢体不自由教育を実施してきました。

昭和41年4月に高等部を設置し、小・中・高の一貫した教育が行えるようになりました。

昭和49年4月に筋ジストロフィー児のための分校が鈴鹿に設置され、昭和52年4月に独立したため、校名を三重県立城山養護学校と変更しました。

昭和54年度、養護学校教育の義務制施行にともない、隣接の草の実リハビリテーションセンター内に設置されていた分教室が草の実分校となりました。更に平成5年には草の実養護学校として本校より独立しました。なお、草の実リハビリテーションセンターには整形検診等の医療的な処置や指導を仰いだり、緊急時の対応をお願いしたりしていました。

平成13年度には県メディカルサポート推進事業研究指定を受けて、看護師が配置されました。

平成19年4月には、三重県立城山特別支援学校に校名を変更し、看護師免許を有する教員が常勤となりました。

平成21年4月には、三重県立草の実特別支援学校と統合し、草の実特別支援学校は城山特別支援学校草の実分校となりました。平成29年4月には城山特別支援学校草の実分校は「かがやき特別支援学校」に移管されました。

その後、三重県内の特別支援学校の通学区域の見直し等があり、現在は、津市の肢体不自由の子どもたちを教育対象とする特別支援学校として位置づけられています。また、知的障がいを合わせ有する児童生徒も在籍しており、近年の特徴として障がいが重度・重複化、多様化してきています。

### 校歌

作詞・作曲 鈴木正孝

一、はるかに輝く伊勢の海

潮の音 遠く 聞きながら

明るく 強く 生きようと

はげむ ぼくたち わたしたち

希望に燃えて 進もうよ

二、風さわやかな城山の

花咲きにおう 丘の上

やさしく 清く すこやかに

のびる ぼくたち わたしたち

心ゆたかに あゆもうよ

三、明るい太陽 光る雲

青空見上げて 胸をはれ

みんなの 道は 遠くても

未来を信じ サアいこう

ああわが母校 栄えあれ

# 目 次

1	本校のミッション（使命、存在意義）	1
2	目指す学校像	1
3	本校の教育目標	1
4	中・長期的な重点目標	3
5	沿革	4
6	教育課程	5
7	児童生徒数及び通学方法	9
8	出身市別児童生徒数	10
9	校時表	10
10	職員構成	10
11	卒業生の進路	11
12	スクールバス運行表	12
13	学校運営組織図	13
14	学校年間行事	14
15	校舎施設配置図	15
16	学校案内図	17

## 1 本校のミッション

中勢地域にある肢体不自由特別支援学校として、関係機関との連携をもとに、多様な教育的ニーズのある児童生徒に対して幅広い教育活動を展開し、自立と社会参加の促進を図るとともに、特別支援教育のさらなる充実を目指す。

## 2 目指す学校像

子どもたちの笑顔があふれ、豊かな学びができ、生活力が高まる学校

## 3 本校の教育目標

### よりよく生きようとする力を育てる

一人ひとりの児童生徒が、安全・安心な教育活動のもとで自己の可能性を伸ばし、社会の一員として明るく強く生きる力を身につける。（校歌一節「明るく強く生きよう」とから）このために、以下の3点を“目指す姿”ととらえて教育活動を展開します

#### ①明るくたくましい子（明朗）

自己の障がいの機能の改善と体力の向上に努め、明るくたくましく生きる力を育てる。

#### ②自分でやりぬく子（自立）

自己のできることを増やし、自ら考え、自主的に解決していける力を育てる。

#### ③助け合う心豊かな子（友愛）

視野を広め、社会性を養い、お互いの人格を尊重し協力し合う豊かな人間性を培う。

小 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康で丈夫なからだを育てる。</li> <li>○ 興味関心を持ち、自分でやってみようとする気持ちを育てる。</li> <li>○ 自分の気持ちを表現する力を育てる。</li> <li>○ 身近な人と関わる力を育てる。</li> </ul>
-------------	---

中 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣を身に付け、健康で充実した心と体を育む。</li> <li>○ 自ら考え、行動し、主体的に生きる姿勢を養う。</li> <li>○ 自分の思いや意思を自分なりに表現し、相手に伝える力を育てる。</li> <li>○ 社会の中で、協調し合う態度を培うとともに、豊かな自己実現に向けた知識・技能や意欲を育てる。</li> </ul>
-------------	---

高 等 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康的な生活を送るために必要なからだを育てる。</li> <li>○ 自己選択や自己決定する力を養う。</li> <li>○ 様々な集団行動において、お互いに尊重し合い、協力し合う態度を育てる。</li> <li>○ 豊かな社会生活を送るために人と適切に関わる力を育てる。</li> </ul>
-------------	--

## 4 中・長期的な重点目標

### 安全・安心で開かれた学校づくり

#### 【安全・安心な教育環境の整備】

- 1 保護者との連携に努め、子どもたちの健康面でのサインをしっかりと受け止めながら、適切な対応を心がけると共に、事故のない安全・安心な教育環境を整備していく。
- 2 適切な実施体制のもと医療的ケアを実施し、効果的な教育のために安全で確実な実施ができるよう整備を進める。

#### 【危機管理体制の充実】

- 1 想定される災害（含む防災）等に対して、安全対策の充実を図る。

#### 【人権教育、交流教育の充実】

- 1 人権教育基本方針をもとに、「差別の現実から深く学ぶ」ことを原則に、人権感覚あふれる学校づくりを推進する。
- 2 子どもたちが地域で生きるために、人権尊重の地域づくりをめざして、家庭訪問や交流及び共同学習を行い、その成果や課題を整理し、地域への発信を進める。

#### 【進路指導の充実】

- 1 自立と社会参加を促進するため、医療、福祉、労働等の関係機関との連携を強化し、生徒の多様なニーズに対応することができるよう進路指導の充実を図る。

#### 【学校関係者（外部）との連携】

- 1 学校関係者評価委員と継続的に連携をはかり、自己評価の結果を評価することを通じて、学校、家庭、地域が学校の現状と課題について共通理解を深め、学校運営の改善を促進する。

### 特別支援教育の推進

#### 【個に応じた教育・支援の充実】

- 1 個別の教育支援計画および個別の指導計画を活用した、きめ細かな指導を図る。
- 2 子どもたちの個々の教育的ニーズに応じた教育課程の編成に努める。
- 3 授業において個別目標を具体化し、効果的な指導が展開できるよう検討をおこなう。また、授業研究を積極的に進め、授業の改善をおこなう。

#### 【センター的機能の充実】

- 1 地域の療育センター、保育所・幼稚園、小・中学校、高等学校等との連携を図り、城山が有している人的資源、物的資源を積極的に提供し、センター的機能の充実に努める。

#### 【教職員の専門性の向上】

- 1 学校の教育力を最大限に発揮するため、外部の専門家の活用も含め、校内外の研修の充実を図る。
- 2 特別支援教育における教職員の専門性の向上を図るため、研修の充実を図る。

### 学校組織力の向上

#### 【組織能力の向上と、人材育成】

- 1 継続的な分掌等の運営や人材育成等について将来を見据えた課題の積極的な検討を進める。
- 2 自立活動のあり方・内容について検討を進める。
- 3 過重労働を削減するため業務の効率化に努め、総勤務時間の縮減を図る。

## 5 沿革

- 昭和 32 年 10 月 1 日 県立草の実学園設立と同時に津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校併設、肢体不自由教育始まる
- 昭和 37 年 3 月 27 日 昭和 37 年度より三重県立肢体不自由養護学校を設立することが県議会で決定
- 昭和 37 年 2 月 第 1 期工事着工 (5 月完成 第 1 棟のみ)
- 昭和 37 年 3 月 第 2 期工事着工 (6 月完成 寄宿舎 3、炊事室 1、浴場 1)
- 昭和 37 年 7 月 第 3 期工事着工 (12 月完成 第 2、第 3、第 4 棟)
- 昭和 37 年 9 月 第 4 期工事着工 (昭和 38 年 3 月完成 寄宿舎 6、浴場、電気給排水)
- 昭和 38 年 2 月 第 5 期工事着工 (3 月完成 門、前庭、塀)
- 昭和 37 年 3 月 31 日 津市立高茶屋小学校草の実分校、津市立南郊中学校草の実分校廃止
- 昭和 37 年 4 月 1 日 三重県立養護学校設立
- 昭和 38 年 3 月 16 日 秩父宮妃殿下ご来校
- 昭和 38 年 5 月 11 日 三重県立養護学校竣工式
- 昭和 39 年 5 月 4 日 三重県立養護学校創立記念日に設定
- 昭和 41 年 3 月 19 日 昭和 41 年度より三重県立養護学校に高等部を設置することが県議会で決定
- 昭和 41 年 4 月 1 日 高等部設置
- 昭和 41 年 9 月 22 日 創立 5 周年記念竣工式典挙行 愛の像建立  
第 4 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 42 年 3 月 31 日 5 教室増築 (318 m<sup>2</sup>) 運動場整備 (2500 m<sup>2</sup>)
- 昭和 43 年 6 月 30 日 5 教室増築 (318 m<sup>2</sup>) 塗装工事
- 昭和 44 年 2 月 16 日 3 教室増築 寄宿舎 3 室増築
- 昭和 46 年 3 月 31 日 高等部職業教室増築
- 昭和 46 年 9 月 21 日 創立 10 周年記念式典挙行 校舎外整備  
第 9 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 47 年 3 月 31 日 3 室増築 車庫改築
- 昭和 49 年 4 月 1 日 三重県立養護学校鈴鹿分校設置
- 昭和 49 年 8 月 31 日 寄宿舎改修
- 昭和 52 年 4 月 1 日 三重県立城山養護学校と校名変更  
鈴鹿分校が三重県立杉の子養護学校として独立
- 昭和 54 年 1 月 1 日 養護学校義務制実施、草の実分教室が分校に昇格。原則として一志郡以北の児童生徒を本校に就学させることに決定
- 昭和 57 年 8 月 4 日 全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会の主催による集団療育事業を本校で実施
- 昭和 57 年 10 月 13 日 第 20 回中部地区肢体不自由教育研究会開催
- 昭和 60 年 12 月 13 日 校舎全面改築第 1 期工事、寄宿舎棟工事着工
- 昭和 61 年 1 月 16 日 校舎全面改築第 1 期工事、浄化槽工事着工
- 昭和 61 年 7 月 12 日 第 1 期工事寄宿舎棟竣工
- 昭和 61 年 8 月 22 日 第 2 期工事 (管理・食堂・特別教室) 着工
- 昭和 62 年 4 月 8 日 第 2 期工事 (管理・食堂・特別教室) 竣工
- 昭和 62 年 8 月 18 日 第 3 期工事 (体育館・特別教室) 着工
- 昭和 63 年 3 月 30 日 第 3 期工事 (体育館・特別教室) 竣工
- 昭和 63 年 6 月 30 日 第 4 期工事 (普通教室・特別教室・職員室) 着工
- 平成 元年 3 月 20 日 第 4 期工事 (普通教室・特別教室・職員室) 竣工
- 平成 元年 6 月 13 日 第 5 期工事 (スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟) 着工
- 平成 2 年 3 月 20 日 第 5 期工事 (スクールバス発着場・中央廊下・スロープ・作業棟) 竣工
- 平成 2 年 6 月 13 日 第 6 期工事 (校庭整備) 着工
- 平成 3 年 3 月 29 日 第 6 期工事 (校庭整備) 竣工
- 平成 3 年 11 月 22 日 創立 30 周年・校舎改築竣工・分校増築竣工記念式典挙行、学校創立記念日に変更  
友愛の像建立、校歌額作成
- 平成 5 年 4 月 1 日 草の実分校が三重県立草の実養護学校として独立
- 平成 13 年 4 月 1 日 看護師配置
- 平成 16 年 12 月 1 日 スノーブレンルーム開設
- 平成 19 年 4 月 1 日 三重県立城山特別支援学校に校名変更
- 平成 21 年 4 月 1 日 三重県立草の実特別支援学校が統合となり草の実特別支援学校は三重県立城山特別支援学校草の実分校に校名変更
- 平成 24 年 9 月 14 日 各教室空調設備の整備完了
- 平成 29 年 4 月 1 日 三重県立城山特別支援学校草の実分校がかがやき特別支援学校に移管

令和7年度教育課程 小学部

教科等		類型		I					II				III				IV
		学年		1年	2年	3年	4年	5・6年	1年	2年	3年	4・6年	1年	2年	3年	4・6年	1・6年
各教科	国語	9	9	7	7	5	5	5	6	6	4	4	5	5			
	社会			2	3	3											
	算数	4	5	5	5	5	4	4	5	5	3	3	4	4			
	理科			3	3	3											
	生活	3	3				3	4	4	5	3	4	4	5	0.8		
	音楽	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8		
	図画工作	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8		
	家庭					1											
	体育	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1			
	外国語					2											
特別の教科	道徳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5		
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.1		
	自立活動	1	1	1	1	1	8	8	8	8	10	10	10	10	3		
総合的な学習の時間				2	2	2											
外国語活動				1	1												
週あたりの授業時間数		25	26	28	29	29	25	26	28	29	25	26	28	29	6		
年間授業時間数		875	910	980	1015	1015	875	910	980	1015	875	910	980	1015	210		

II類型 小学部3段階、2段階  
 III類型 小学部1段階  
 IV類型 訪問教育

令和7年度教育課程 中学部

教科等		類型	I			II	III	IV
		学年	1年	2年	3年	1 ～ 3年	1 ～ 3年	1 ～ 3年
各教科	国語	4	4	3	4	4	0.5	
	社会	3	3	4	2	2	0.2	
	数学	4	3	4	4	4		
	理科	3	4	4	2	2	0.3	
	音楽	1	1	1	2	2	0.5	
	美術	1	1	1	1	1	0.5	
	技術・家庭	2	2	1				
	職業・家庭				2	1		
	保健体育	2	2	2	1	1		
	外国語	4	4	4				
特別の教科	道徳	1	1	1	1	1	0.5	
領域別	特別活動	1	1	1	1	1	0.5	
	自立活動	2	2	2	8	10	3	
総合的な学習の時間		1	1	1	1			
総授業時間数		29	29	29	29	29	6	
年間授業時間数		1015	1015	1015	1015	1015	210	

II類型：中学部2段階、1段階 小学部3段階、2段階

III類型：小学部1段階

IV類型：訪問教育

令和7年度教育課程 高等部

教科	科目	類 型	標準 単位数	I		
				学年	1年	2年
国語	現代の国語		2	2		
	言語文化		2	2		
	論理国語		4		2	2
	文学国語		4		★2	★2
	国語表現		4		★2	★2
	古典探究		4		★2	★2
地理歴史	地理総合		2	2		
	地理探究		3		●2	●2
	歴史総合		2	2		
	日本史探究		3		●2	●2
	世界史探究		3		●2	●2
公民	公共		2	2		
	倫理		2			△2
	政治・経済		2			△2
数学	数学Ⅰ		3	3		
	数学Ⅱ		4		2	2
	数学Ⅲ		3			
	数学A		2	1	1	
	数学B		2			△2
	数学C		2			△2
理科	科学と人間生活		2	2		
	物理基礎		2			□2
	物理		4			
	化学基礎		2			□2
	化学		4			
	生物基礎		2		2	
	生物		4			
	地学基礎		2			□2
	地学		4			
保健体育	体育		7～8	2	2	3
	保健		2	1	1	
芸術	音楽Ⅰ		2		1	1
	音楽Ⅱ		2			
	美術Ⅰ		2		1	1
	美術Ⅱ		2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ		3	3		
	英語コミュニケーションⅡ		4		2	2
	英語コミュニケーションⅢ		4			
	論理・表現Ⅰ		2	1	1	
	論理・表現Ⅱ		2			△2
	論理・表現Ⅲ		2			
家庭	家庭基礎		2			
	家庭総合		4		2	2
情報	情報Ⅰ		2		2	2
	情報Ⅱ		2			
総合的な探究の時間			3～6	2	2	2
自立活動				4	4	4
特別活動				1	1	1
総授業時数				30	30	30
年間授業時数				1050	1050	1050

\* 2年次は、★●からそれぞれ1科目ずつ選択する。

\* 3年次は、□△からそれぞれ1科目ずつ選択する。なお、★●は2年次選択した科目を履修することとする。

令和7年度教育課程 高等部

教科等		類型	I	II	III	IV
		学年	1 \	1 \	1 \	1 \
			3 年	3 年	3 年	3 年
各教科	国 語	別紙		4	4	0.5
	社 会			3	1	0.3
	数 学			4	4	
	理 科			2	1	0.2
	音 楽			1	2	0.5
	美 術			1	1	0.5
	職 業			2	1	
	家庭			1	2	
	保健体育			1	2	
	外国語					
特別の教科	道 徳		1	1	0.5	
領域別	特別活動		1	1	0.5	
	自立活動		8	10	3	
総合的な探求の時間			1			
総授業時間数			30	30	30	6
年間授業時間数			1050	1050	1050	210

II類型 高等部2段階、1段階、中学部2段階、1段階  
小学部3段階、2段階

III類型 小学部1段階  
IV類型 訪問教育

## 7 児童生徒数及び通学方法

令和7年5月1日現在

学部	学 級	生徒数計	通 学 方 法		訪 問
			SB	自主	
小 学 部	1組	3	1	0	2
	2組	2	1	1	0
	3組	3	1	2	0
	4組	2	0	2	0
	5組	2	0	2	0
	小 計	12	3	7	2
中 学 部	1組	3	1	2	0
	2組	1	0	0	1
	3組	2	0	1	1
	4組	2	1	1	0
	5組	2	0	0	2
	小 計	10	2	4	4
高 等 部	1組	3	1	2	0
	2組	3	1	2	0
	3組	2	1	1	0
	4組	2	2	0	0
	5組	3	2	1	0
	小 計	13	7	6	0
合 計		35	12	17	6

## 8 出身市別児童生徒数

令和7年5月1日現在

	津 市	その他の地域	合 計
小学部	11	1	12
中学部	9	1	10
高等部	12	1	13
合 計	32	3	35

## 9 校時表

	小学部	中学部・高等部
第1限	8:55 ~ 9:40	8:55 ~ 9:45
第2限	9:50 ~ 10:35	9:50 ~ 10:40
第3限	10:45 ~ 11:30	10:45 ~ 11:35
第4限	11:40 ~ 12:25	11:40 ~ 12:30
昼食・休憩		
第5限	13:15 ~ 14:00	13:15 ~ 14:05
第6限	14:10 ~ 14:55	14:10 ~ 15:00
○スクールバス学校発車時刻		
通常の日～金	15:05	
短縮日課	13:15	
特別日課（始業式、入学式等）	11:05	

## 10 職員構成

校長	教頭	教諭（看護師含む）	講師	非常勤講師	養護教諭	実習教諭	栄養職員	事務職員	事務職員	学司	学校技術員	学校教員	介助員	講師（看護師）	バス添乗員	学校業務支援員	スクール・サポート・スタッフ	小計
1	1	35	6	14	2	2	1	1	5	1	1	3	2	6	1	1		83

学 校 医	歯 科 医	眼 科 医	薬 剤 師	産 業 医	小 計	合 計
2	1	1	1	1	6	89

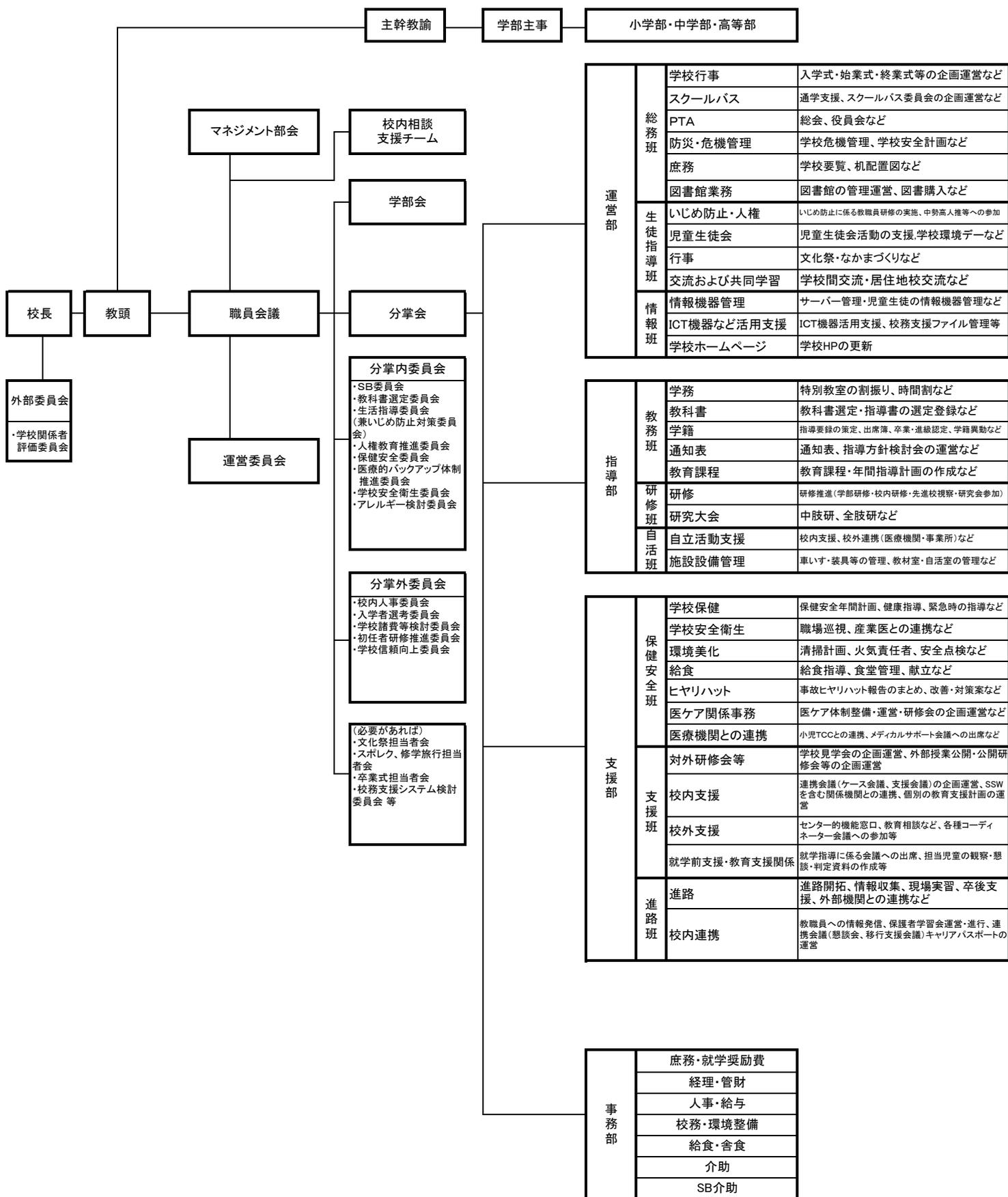
## 11 卒業生の進路（過去10年間）

年 度	学 部	卒 業 時 進 路								合 計
		進 学	職 業 能 力 開 発 校	就 職	各 種 学 校	福 祉 的 就 労	生 活 介 護	施 設 入 所	そ の 他	
27	中	6								6
	高		1		1		2		1	5
28	中	9								9
	高						6			6
29	中	6								6
	高						7			7
30	中	4								4
	高						7			7
31	中	8								8
	高			1			6		1	8
R2	中	11								11
	高			1			5		2	8
R3	中	4					1			5
	高					2	6	1		9
R4	中	2							1	3
	高						4		1	5
R5	中	5								5
	高						11		1	12
R6	中	4								4
	高						4			4

## 12 スクールバス運行表

河芸コース		芸濃コース		一志コース	
(登校)	(下校)	(登校)	(下校)	(登校)	(下校)
河芸町民の森		芸濃町(ザ・ビッグ)		一志庁舎前	
	15:45	7:45	15:45	7:55	15:40
白塚団地入口					
7:45				8:15	15:27
桜橋					
8:10		8:15	15:25		
	旧イオン津				
	15:30				
				久居駅西口	
				8:25	15:23
学		校			
8:45	15:05	8:45	15:05	8:45	15:05

# 13 学校運営組織図

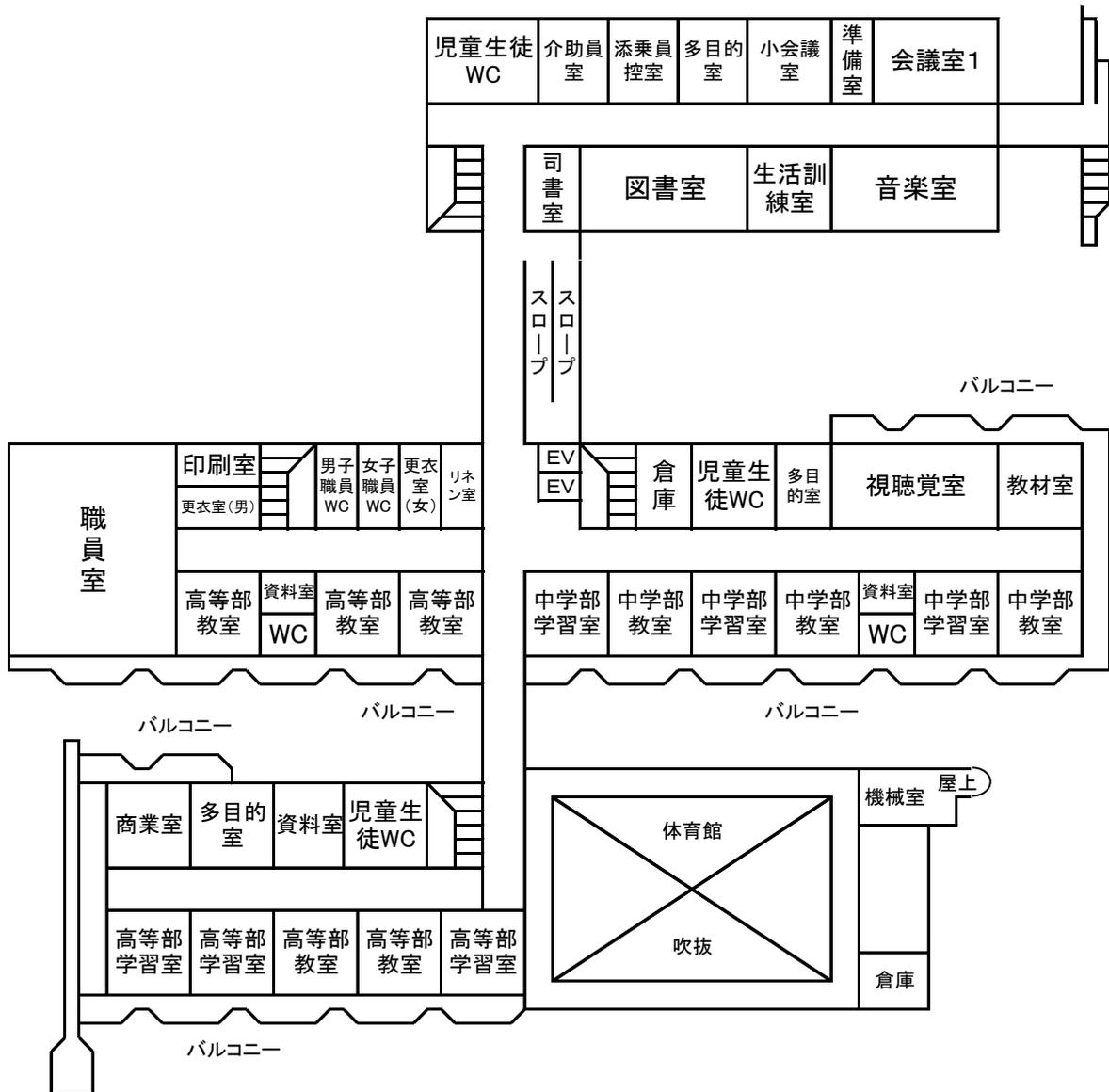


# 14 学校年間行事

月	学校全体	小学部	中学部	高等部
4月	○始業式 ○入学式 ○身体測定、聴力検査、 心電図検査、眼科検診 歯科検診 視力検査、尿検査、 ○P T A総会			○学部集会 ○進路懇談会
5月	○体重測定 ○視力検査 尿検査 X線検査 耳鼻科検診 眼科検診 整形検診、内科検診 ○危機対応訓練 ○保護者懇談会	○スポレク ○学部懇談会	○スポレク ○学部懇談会	○スポレク ○学部懇談会
6月	○体重測定 ○起震車体験	○宿泊学習	○宿泊学習	○宿泊学習 ○高3 現場実習
7月	○体重測定 ○学校見学会 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式			○高3 現場実習
8月				
9月	○始業式 ○身体測定 ○災害伝言ダイヤル体験			○修学旅行
10月	○体重測定 ○危機対応訓練	○修学旅行	○修学旅行	○高1・2現場実習
11月	○体重測定 ○文化祭		○校外学習	○校外学習
12月	○体重測定 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○終業式			
1月	○始業式 ○身体測定 ○災害伝言ダイヤル体験 ○危機対応訓練			
2月	○体重測定	○卒業を祝う会 ○入学説明会	○卒業を祝う会 ○入学説明会	○卒業を祝う会 ○高等部入学者選考
3月	○体重測定 ○卒業式 ○保護者懇談会 ○大掃除 ○修了式			○入学選考(再募集) ○入学説明会
		○交流学习(立成小) ○校外学習	○交流学习(南郊中)	



( 2F )



校地面積	18, 427m <sup>2</sup>
校舎面積	7, 368m <sup>2</sup>
旧寄宿舎面積	768m <sup>2</sup>
運動場面積	3, 691m <sup>2</sup>

# 16 学校案内図

〒514-0818 津市城山一丁目5番29号

TEL (059)―234―3431(事務室)

(059)―234―9460(職員室)

FAX (059)―234―3432

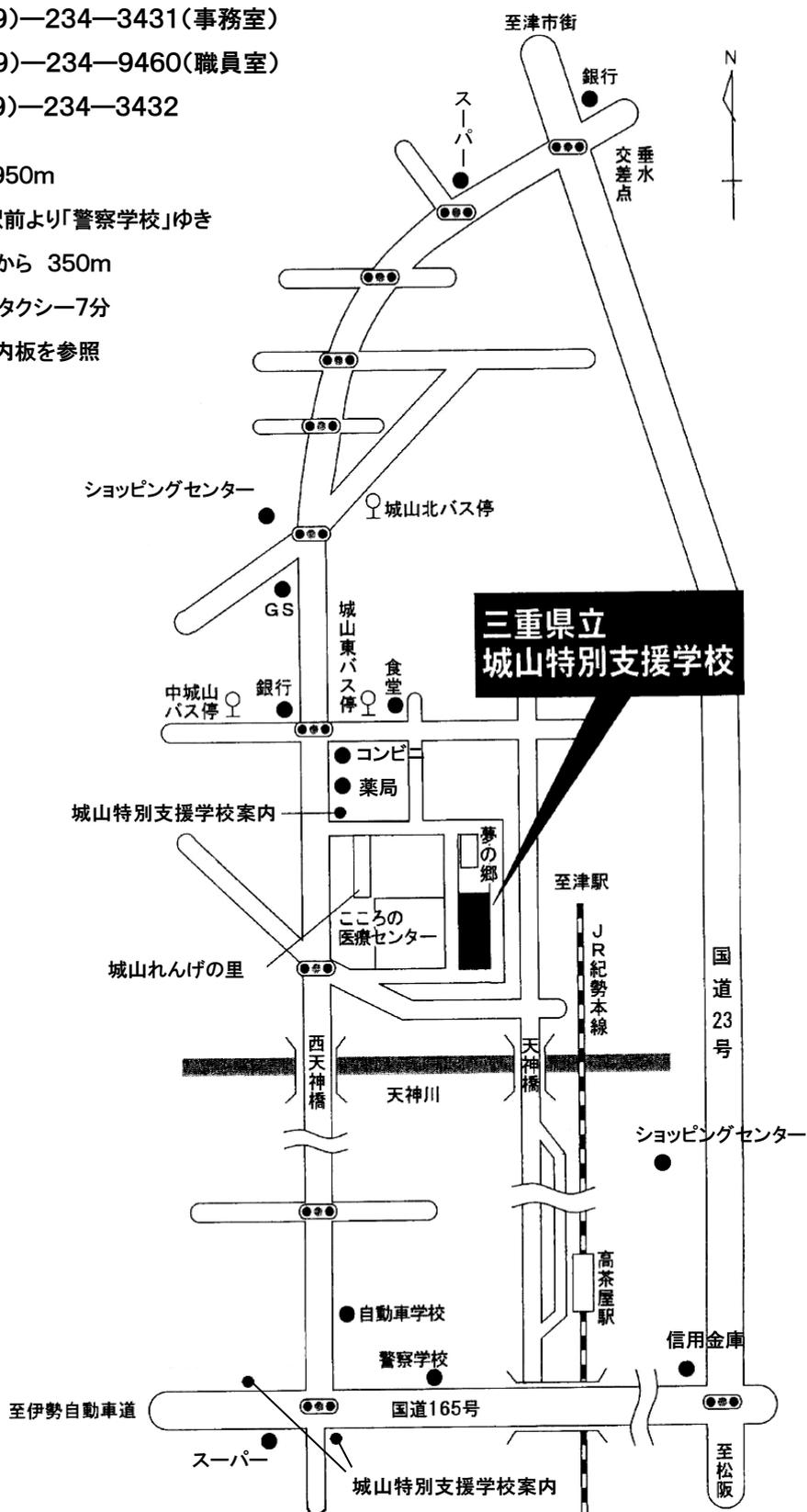
○JR高茶屋駅から 950m

○三重交通バス・津駅前より「警察学校」ゆき

「城山東」(中城山)から 350m

○近鉄・久居駅下車 タクシー7分

○自家用車の方は案内板を参照





## 校章の由来

本県のシンボルでもある威勢の良いイセエビにあやかって、障がいを克服して精進してほしいという願いを込めたものです。

三尾にしたのは、三重の意のほか、小・中・高の三学部、児童生徒・職員・保護者の三者、本校教育の柱である明朗・自立・友愛などを意味するものです。

それを組み合わせて円形にし、三者の協調と人格の円満と和を祈念しました。